

令和7年1月17日

No. 1 1



発行責任者

校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

### 【3学期始業式 校長の話】

つつしみて 日に新たに 日々に新たに 日にまた新たなり

学校の正面玄関の隣にある花壇に、次のような言葉を記した石碑があります。

「つつしみて 日に新に 日々に新に 日にまた新なり」

これは、三千年以上昔、中国に殷（いん）という国をつくった王が大切にされた言葉とされています。その王は、この言葉を洗面器に刻み、毎朝顔を洗うたびに眺めていたそうです。「新た」という言葉が繰り返されていて、とても心地よい言葉だと思いませんか。

私たちの体は、刻々と変化しています。髪の毛が伸びたり、爪が伸びたりするかと思えば転んで擦りむいたけがも、時間が経つと治っていくでしょう。昨日の自分と今日の自分を表面的に比べても、さほど見た目には違いはありません。私は私のままです。しかし、私たちの命は刻々と代謝しています。これを新陳代謝といいます。

体の新陳代謝だけではありません。心も同じです。

みなさんは、自分の心が新しくなったり豊かになったりした経験はありますか。

たとえば、今まで縄跳びで跳べなかった技が、何度も練習した結果、跳べるようになった時、どんな気持ちになりましたか。

たとえば、できなかった計算が、努力した結果、解けるようになり、「算数って面白いな」と感じたことはありませんか。

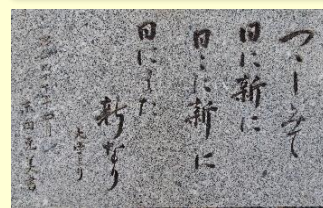
たとえば、本を読んだとき、はじめは難しく面白くなかったけれど、何回も読んでいるうちに、その中にあるすばらしさがわかり、自分がこれまでとは違う世界に入っていくような気持ちになったことはありませんか。

つまり、はじめはわからなかったり、できなかつたりしたことが、努力することによってわかったり、できるようになつたりすることってあるでしょう。今まではっきりしていなかったものをはっきりさせたり、今まで考えてもみなかったことをつくり出したり、考え出したりすることによって、自分の可能性を引き出し、自分の能力を創り出していく日々こそが、「日に新に 日々に新に 日にまた新なり」なのだと私は思います。

中国の王は、毎朝顔を洗いながら、「自分は昨日の自分ではないぞ。今日も一日、心新たにがんばるぞ。新しい自分を創っていくぞ。」と自分自身に言い聞かせていたのかもしれない。

さあ、令和7年のスタートです。今年一年どんな年にしますか。どんな自分になりたいですか。

自分を育てるのは自分です。自分を動かすのも自分です。友達や先生、クラスや学年の仲間力を借りながら、なりたい自分に向かって伸びていくみなさんの姿を楽しみにしています。一緒に、日に新たにがんばっていきましょう。



## 【児童代表の言葉】

「理想の5年生になるためにがんばりたいこと」

4年 代表児童

私たち4年生は、2学期に「どんな5年生になりたいか、そのためにどのように3学期を過ごすのか」考えました。私は「下学年のお手本になる5年生」になりたいです。そのために3学期、頑張りたいことが3つあります。

1つ目に「感謝の言葉を大切にし、人にやさしくすること」です。道徳の時間に「ありがとう」は「めったにない、ありがたいという意味」だと学びました。実際にだれかに「ありがとう」と伝えると、言った側も言われた側も気持ちがいいと実感しました。また、感謝されるようなことをだれかにすると、自分にも返ってきます。このような周りの人に感謝される行動が増えていけば、人に優しくできる学年になれる。そんな優しい学年になって、卒業を祝う会や5年生の行事もみんなと協力してやりきりたいです。勉強する時も、困っている友達がいたら教えてあげるなど「だれも見捨てない優しさ」をもちたいと思います。だから、積極的に人に優しくしたり、感謝の言葉を伝えたりするようにします。

2つ目に「友達の意見を素直に受け入れること」です。2学期に「友達に注意するのは簡単だけれど、それを受け入れて直すことは難しい。でも素直に受け入れて直すことが大切。」だと学びました。これから5年生になるにあたり、注意を受け入れられず、けんかするような5年生ではだめだと思います。だから、注意されたら「次は気を付けよう」とその友達の声を受け止めて、素直に直せるよう心掛けたいと思います。

3つ目に「話し合いの力を伸ばす」ことです。学習発表会を通して話し合い、合意形成することを学びました。この力を学級や学年で話し合いする時に活かすことができています。特に話し合いの時に、一人一人が「他人事」ではなく「自分事」として考えられるようになっていきます。例えば、班の友達とすぐに話し合いができる、相手も自分の意見も大切に作る、友達の意見に反応することができるようになっていきます。この「話し合う力」を3学期はさらに伸ばしていきたいです。

3学期、少しでも自分の理想とする5年生に近づけるよう、これら三つのことを意識して行動したいと思います。

## とんど祭り

1月12日(日)に、コミュニティ・スクール主催のとんど祭りが本校のグラウンドで行われました。10月末から町内会長さん・PTA役員さん・CSサポーターさん達と打ち合わせを始め、12月には竹の切り出しやぜんざい等のふるまいの準備を行いました。当日のとんどの櫓作り、灰の片付けまで、町内会や保護者、中学生のボランティア等、この日に至るまでに、子供達の喜ぶ顔を想像しながら、たくさんの方々協力しながら1つの行事を創り上げてきました。

13時30分から神事が執り行われ、今年一年の無病息災が祈願されました。その後、点火され、子供達の「わあ。」という歓声も聞こえ、皆さんが見守る中、大きな炎が空高く上がり、とんどが燃えていきました。地域にこのような伝統行事があり、それを経験できることは子供達にとって素晴らしいことです。今後も子供達が伝統を引き継ぎ、地域に愛着をもってほしいです。



## 「じまんの俳句」第7回目の代表作品

今回は、今年3回目の自由投句でした。今回集まった俳句は、過去最高の5864句、816人もの皆さんが参加してくれました。また、1人で30句以上の俳句を作ってくれた人が18人もいました。

秋が深まってくると日が暮れるのも早くなります。遊んでいるうちに、あっという間に薄暗くなってしまい、慌てて家に帰ろうとすると、すっかり忘れ物をしてしまったという情景を詠んでいます。「秋の暮れ」という五音の季語を使うだけで、薄暗くなった夕方の光景を表現することができます。季語を効果的に使った作品です。

秋の暮れ ほうかごあそびで わすれもの

二年 児童

ブランコに乗って、勢いよくこいでいるうちに風になる。この表現に心ひかれました。全身に風をあびながらブランコをこいでいると、まるで自分が風そのものになってしまったかのように感じる事ができるなんて素敵だと思いませんか。

ブランコに のってだんだん かぜになる

一年 児童

今回こたつを詠んだ俳句がたくさん集まりました。「こたつから出られない」「こたつおわり」といった俳句が多い中で、○○君の作品は「ひみつきち」と表現しているの、唯一無二の作品となりました。兄弟げんかをした後、こたつの中に逃げ込んだのでしょうか。確かに、こたつの中は誰にも邪魔されない自分だけの秘密基地になりますよね。

けんかして こたつの中は ひみつきち

三年 児童

この俳句を読むと、その時の光景がありありと目に浮かびます。家に帰ったものの鍵を忘れて家に入れない、しかも、「仁王立ち」という表現から、シヨックのあまりその場に立ち尽くす○○君の様子が目に見えるようです。「終わったわ」というつぶやきも効果的ですね。

「終わったわ。」 鍵を忘れて 仁王立ち

六年 児童

四年生は、彫刻刀で自画像を彫りました。「彫った自分」そして「彫られた自分」という言葉を使っているのが見事です。特に、「彫られた自分」という七音で、彫刻刀で自分の姿を彫ったことを見事に表現しています。出来上がった自画像を見て、作者の○○さんは何を思ったのでしょうか。

彫った自分 彫られた自分と ならめっこ

四年 児童

寒さが厳しくなってくると、朝、布団から出られない、ストーブの取り合いをするという様子を詠んだ俳句が多かったです。○○さんのように、「あと五分」と言う人は多いのではないのでしょうか。誰もが「わかる」「あるある」と共感できる俳句になりました。

「あと五分」 何回も聞く 冬の朝

五年 児童

## 先生方からのメッセージ

3学期の始まりに合わせて、先生達から子供達へのメッセージを児童玄関に掲示しました。已年に合わせたものや子供達への励まし等、3学期も頑張ろうと思えるような温かい言葉が並んでいました。担任だけでなく、学年部や専科の先生方からのメッセージを立ち止まってじっくりと読む子や、友達と一緒に言葉を交わしながら嬉しそうに読む姿が見られました。今年もみんなが元気に楽しく学校生活を送ることができますように…。



## 府中中央小学校にサンタクロースと獅子舞が現れる！

12月23日(月)の給食は、クリスマスデザートでした。中央小学校にサンタクロースとトナカイが現れ、子供達に一足早いクリスマスケーキのプレゼントがありました。サンタクロース出現のサプライズと美味しいケーキのプレゼントに子供達は大喜びでした。サンタクロースやトナカイは、PTAやCSの皆さんが子供達のために変装してくださいました。



また、1月7日(火)の給食時には、新年をお祝いして、獅子舞が各学級を巡りました。中には、獅子舞に頭を噛んでもらう子供達もいて、健康な1年を過ごすことができるように願っていました。この獅子舞は、府中町かっぼ連の皆様のご協力によるものでした。

このように、保護者やCS、地域の皆様に支えられて貴重な体験ができるのは、幸せなことです。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

## アンケートへのご協力ありがとうございました

保護者の皆様には、ご多用の中、第2回「いじめ、体罰、セクシャルハラスメントアンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。アンケート結果をもとに学級担任が事実関係を確認し、話し合いや学級指導をしました。今回のアンケート結果からは、「軽い気持ちで傷つく言葉を言ったり乱暴なことをしたりしている」「仲間外れにする」「他人の物と自分の物を区別せず、物を大事にしていない」などの傾向が見られました。低学年では登下校中のトラブル、高学年では、オンラインゲームでのトラブルも起こっています。学校では、望ましい行動に着目し、増やす取組を行うとともに、児童の合意形成を図るための話し合い活動やマイブランチ学習を通して、相手に伝わるように話す力と友達の考えを聞く力、人を認める発言や態度を習得させる指導をしていきます。また、「SSTと道徳科授業を組み合わせた道徳教育プログラム」と関連付けて、道徳科や話し合い活動などにSSTの要素を取り入れ、良好な友達関係の構築を目指し、思いやりの気持ちを育む教育活動を行っていきます。これからも、全教職員で共通認識を図り、今後も保護者の皆さんと連携を密にしながら、心を育てる取組を進めていきたいと思っております。ご家庭でも折にふれてお子さんと話し合ってみてください。ご協力をよろしくお願いいたします。